松山市議会議員通信

やまがら

2022年 新春号 No.45

松山市議会議員
梶原ときよし
会派：ネットワーク市民の窓

やまがら（山雀）
毎年、冬には自宅に来てくれます。

一人ひとりが大切にされる 人間尊重社会を実現しよう。

- 松山市立の総合病院を設立し、コロナ等感染症対策を含め市民の命を守ろう！
- 官民癒着や税金の無駄遣いをやめさせ、高い市民負担を軽減させよう！
- 教育と子育て予算を増額し、医療・介護・福祉を充実させる市政に転換させよう。
- 電車・バス・フェリーのシルバーパスを実施して元気な高齢者が活躍する街にしよう。
- 伊方原発をやめて、自然エネルギーへの転換を促進しよう。（PPS電力の利用促進）
- 命、人権、環境、平和を大切にし、子どもたちに安心未来を引き継ごう。

発行・梶原ときよし

あなたが尊重される社会へ

「異議なし」ばかりの不用な議会から チェック機能のある真の議会へ

政治を行う市長に対し、それを監視する議会が充分なチェック能力を持ってこそはじめて地方政治は機能します。

しかしながら松山市議会の現状は、質問時間さえもてあまし、討論もせず「起立賛成」しかしない市政与党の議員等が数の論理で、一人年間僅か一時間しかない議員の「市政監視のための質問時間」を増やすことに反対するというのが現在の姿です。

このように劣化した議員のほとんどは、市政監視どころか市政執行部におもねることで議員特権を振りかざす旧態依然の体質を持っており、市民の充分な議員監視が必要です。

私はこれからも政治権力に迎合することなく市民の基本的人権確立と、市政と市議会活性化のために、あくまで市民目線で行動をして行きます。

松山市定例市議会（年4回）に 12年間、47議会連続登壇を 続けています。

※2021年12月現在

2010年の松山市議会議員初当選以来、全定例議会で質問あるいは討論を行ない、一問一答方式の導入をさせるなど、これまでのセレモニー一化した議会に風穴を開け続け、いつの間にか議会の一般質問では、「梶原劇場」と呼ばれています。

今では「梶原劇場」と言われている梶原議員の一般質問

パネルを使っての分かりやすい質問

答弁する市長

毎議会終了後は市駅前で、議会報告「やまがら」を配布するとともに市政報告と平和を訴える街頭演説をしています。

2015年9月19日、憲法学者の95%が違憲と指摘しているにもかかわらず、安全保障関連法案（戦争法）が強行採決されました。
平和憲法を守る立場から、市駅前で継続して街頭行動を行っています（議会開催日等を除く）

街頭で立憲主義の回復をアピール

街頭演説

脱原発と憲法9条を守る活動

梶原議員の更なる活躍に期待する

愛媛大学名誉教授・元学長　小松　正幸

梶原支援を訴え、がっちり握手する小松正幸元愛媛大学学長（右）と梶原ときよし

梶原さんの松山市議としての活動は今年で3期12年になります。

この間、硬直した旧態依然の市政に風穴をあけ、議論なし何でも賛成のセレモニー議会に強烈な喝を入れ続けて来ました。その目覚ましい活動と成果は今や多くの市民の認めるところです。

この4年間を見ても**中学卒業までの医療費の無料化**、就学援助費の2倍化を実現、市内小中学校トイレの洋式化率を28%から55%に引き上げるとともに、小中学校39校に63ヶ所もあった、子どもの嫌がる男女共用トイレを全て男女別に改善、**市所有施設への新電力導入により3億円以上の電気代の削減**、市職員のカラ出張を止めさせ出張時の領収書添付を義務付けさせる、**受動喫煙対策では**、理事者の抵抗を破り**敷地内・勤務中の全面禁煙を実施させる**、など大きな成果を上げました。

これらは全て梶原議員の綿密な調査に基づく鋭い追及によって「市当局」が実施せざるを得なかった事項なのです。こんなことが今までなったでしょうか？しかもここに挙げた事項は梶原議員が追及し実施を迫った事項のほんの一部でしかありません。松山市政は呆れるほど無策で、解決すべき問題は多岐に及んでいるのです。

梶原さんが取り上げた重大な問題の中で注目されるのは、税金の垂れ流しと言われても仕方がない企業立地促進事業費と称して（2011～2016年9400万円、2020年1億2000万円）のばらまき、年300万円、30年間で9000万円の愛郷会総会と称する宴会の補助金、実現もしない西条分水のために10億円の事務費や準備費、利用価値の低いJR鉄道高架化事業に600億円等の無駄遣い、低所得者に対する国保料50%の引き上げ、などです。つまり、「知り合い業者に甘く、低所得者へは容赦ない取り立ての松山市政策」への追及です。

自治体は言うまでもなく市民に代わって市民のための行政組織であり、それを主導し市民のための政策を実現するのが市民の代表たる市長の役目です。そして**行政の行過ぎを停滞、間違いを正すチェック機関として市民から選ばれた議員による議会がある、これが民主的地方自治のイロハです。**だから**梶原議員は常に「一人ひとりが大切にされる人間尊重社会を実現しよう」を活動目標として掲げ**、コロナ禍の中で無策の行政、成り行き任せの松山市政を厳しく追及し、**無駄遣いを止め市民のための行政に立ち戻ること、そして松山市長に「ちゃんとやってくれよ」と叱咤しているのです。**

こんな議員がいなくなったら松山市議会はどうなるのか、私はとても恐ろしい気がします。

梶原議員3期12年の活動実績は、梶原さんを信頼し、そして梶原さんを頼みとする市民の支援、応援があって獲得されたものと思います。梶原さんには引き続き松山市議としてこれまでの活動を続け、さらに発展させて欲しいと願っています。

梶原ときよしさんの議員活動に、心からの応援をお願いいたします。

小松正幸

市民のみなさまへ ～私の決意～

松山市議会議員
「ネットワーク市民の窓」
梶原ときよし

「一人ひとりが大切にされる人間尊重社会の実現」という理想を掲げ、私はこの12年間全ての市議会本会議に質問や討論で登壇（本会議47議会連続登壇の記録更新中）し、「大切な税金を直接市民のために使う市政」へと転換させるべく努力をしてまいりました。

また市議会報告通信「やまがら」を年4回の議会毎に配布して、市議会内外の活動を報告してきました。

教育（一人親家庭などの就学援助）や子育て支援（子どもの医療費支援）にお金を使わない野志市政の予算編成（県内20市町村中最下位…全国48中核市中も最下位）を厳しく追及して中学校卒業までの子ども医療費の無料化を実現させるとともに就学援助を2倍に増やしました。また、常態化していた幹部職員によるカラ出張を正し、民間企業ではあり得ない職員出張時における「領収証提出不要制度」を改善し、領収証提出を義務化させました。

JR松山駅周辺開発においては、1時間に数本しか走らない予讃線には、利用価値の低い鉄道高架事業に固執したため、工期は大幅に遅れ、土木業者や政治家だけが喜ぶ約600億円もの税金の無駄遣いをするだけでなく、2017愛媛国体に間に合わず公約どころか、新しい駅舎や駅前広場は、未だに影も形もありません。

（高松駅や徳島駅のように高架にせず、駅舎と広場の再開発だけなら、とっくに松山の表玄関JR新松山駅が完成していた）

このような市民感覚では有り得ない、市政幹部の「公務員特権意識」を変えさせなければ、相変わらずの官民癒着や職員不祥事、そして無駄遣いの典型であるコンクリート大好き市政が続いていきます。

コロナ禍の中、医療体制の充実と、厳しい生活を余儀なくされている市民の命と生活を守り、松山の元気を取り戻すためには、市長提案に討論もせず「起立賛成」しかしない不要な議員をつくらず、市政監視能力を持つ議会に変えて「市民の大切な税金が直接市民のために使われる市政」の実現をはかることだと確信しています。

今後ともご支援を宜しくお願い致します。

HPでは梶原の活動予定や全定例議会での質問登壇が動画でご覧いただけます。

市政他、何でも相談をお受けしています。
ご連絡ください。

ホームページ　梶原ときよし 公式ホームページ　検索

梶原ときよし事務所

〒790-0813　松山市萱町2丁目1-2
TEL 089-947-2258
FAX 089-947-2259
携帯 080-5669-8586
E-mail sizenha-812@lib.e-catv.ne.jp

●午後1時～午後5時まで（月～金）
●土・日・祝日はお休みです。

お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。　P あります。

孤軍奮闘！着実な成果を出した12年間!!

セレモニー議会を改革し、市民生活向上へ大きな成果！

◉5回に渡る、電力自由化への議会質問で市所有施設への新電力導入をはかり、**年間3億円以上の税金の無駄遣い**をやめさせました。（まだあと2億円は可能です）

◉過去10年間に渡る予算要求と議会質問で中学校卒業までの**子ども医療費無料化を実現**

◉市内小中学校84校のうち39校に63カ所もあった子どもの嫌がる**男女共用トイレ**を8年もかかりましたが、**全て男女別に改善（ゼロに）**させました。

◉受動喫煙対策の質問では、理事者の抵抗を破り**敷地内・勤務中の全面禁煙を実施**させ、**多くの非喫煙者から大歓迎**を受けました。

◉今後予想される大地震の津波被害対策として市内に**8000枚の海抜表示標識を設置**させました。

梶原議員が主体的に関わり、議会質問や委員会質疑を行った上で、実現に貢献したもの

12年間の実績

市民目線で着実な成果を出した12年間!!

議会の活性化へ向けて前進

- ●セレモニー議会をやめさせるため、全議員の中でただ一人、理事者に議会質問全文の事前提出をせず、なれあい答弁をやめさせ、緊張感ある質疑を展開
- ●議会質問における「問・答方式を導入（梶原議員の質問中は緊張感のある議会に激変）
- ●定例議会の議員質問回数制限（年2回まで）を撤廃させ、全議会で毎回質問ができるようにさせた
- ●教育委員会等の同意人事において抱負を明記させるように変更
- ●女性の登用のない審議会をゼロにさせました。

市行政に対する要望の実現（市内全域で活動しています！）

- ●市所有施設への新電力導入をはかり、年間3億円以上の税金の無駄遣いをやめさせました
- ●小中学校の男女共用トイレを洋式化を促進（梶原の質問前の28・4％から55％まで改善）
- ●就学援助費の2倍に増やしました（梶原の質問前は84校中39校／63カ所にあったのをゼロにしました）
- ●津波避難対策として市内に8000枚の海抜表示標識を設置
- ●市道小野2号線（平井町・貝塚町）を開通（東部地区の利便性が大幅増加）
- ●タウンミーティングでの司会をプロから職員に変更させました（一回83万円の無駄な税金支出を削減）
- ●10年も続いた男だけの固定資産評価審査委員会に女性を登用

実現に向けて奮闘しています!!　新型コロナ対策では

新型コロナ対策要求

- ▼電車・バス・フェリー代の市民負担軽減とシルバーパスの実施
- ▼松山市立の総合病院を設立し、コロナ感染対策他に対応
- ▼国民年金全額度で即入居できる特別養護老人ホームの増設
- ▼高すぎる市街化農地・固定資産税の軽減
- ●本市に感染者を入れないよう、水際対策の徹底を要求しています（空港やJR駅あるいはホテルでのPCR検査の実施）
- ●いつでも市民が気軽に受けられるPCR検査体制の整備

梶原議員が主体的に関わり、議会質問や日常活動で、実現に貢献したもの

市民の生活相談や日常活動

- ●西日本豪雨災害では、農地や伊予かん山等の復旧を促進（姫原）
- ●市道舗装・白線明示のやり替え、側溝補修・危険水路の安全ポール設置等の、市民の安全に関わることは即日対応
- ●障害者福祉年金支援・生活保護支援・生活福祉支援等の行政支援を実行
- ●DVや親の教育放棄による被害を受けた女性や子どもの相談も解決
- ●警察への戸籍謄本無断提供を大幅削減（これまで松山市は捜査に関係の無い人の戸籍謄本等を市民に無断で警察に提供していた）
- ●奥道後方面への道路標識を充実させ安全を確保・観光を活性化
- ●湯の山団地内交差点全面改修を実現（安全な交差点に変更）
- ●校庭にバックネットを設置し長年懸案の安全を確保（湯山小）
- ●公園に大人の健康遊具の導入促進（ドイツでは主流）
- ●市街化区域農地への課税免除策として、生産緑地制度の地区指定を告示させた（農家のみなさんご利用ください）
- ●危険だった道路の補修と改良（朝日ケ丘・東長戸・湯の山）
- ●生活道路の拡幅（山越）
- ●毎年大量発生していた害虫を抑制（菅町）
- ●帰国子女の就学支援（日浦）
- ●ガケ崩れ防止対策の実施（北条地区）
- ●農業用水路の暗渠化で安全に（東石井）
- ●農道の払い下げ相談を解決（市坪・竹原）
- ●指定道路の舗装と下水道整備（舌川南・保免）
- ●立岩川の中洲に溜まったハドロや雑木を除去（北条）

都市整備部は、時代錯誤の事務執行を改善せよ!!

「キャッシュレス支払いには領収証が出せない」とあまりに、お粗末な市長答弁。

年間1万2000人の利用者が改善を求めている、都市整備部の各種証明書発行業務について

梶原議員

本市の本庁7階にある都市整備部には、建設や不動産取引に関わる業者さんを中心に年間約1万2000人もの市民が都市計画証明書等の取得申請に来庁するが、旧態依然の業務効率の悪さと、来庁市民に対する利便性の配慮に欠ける職務執行体制が、市民だけでなく窓口の職員まで苦しめていることを、昨年2020年の6月議会の一般質問で私が指摘した後、1年半もの間、何とかするよう言い続けてきたが、一向に改善されていない。都市整備部だけが、いまだに窓口で申請手数料を受け取らず、来庁した市民に銀行まで振り込みに行かせ、その領収書を見せないと証明書等を出さないという仕組みを続けている。

①なぜ、こんなお粗末な業務執行体制を見逃すのか。

②市長は市民の利便性を考えたことがあるのか。あれば示せ。

③なぜ、年間1万2000人のお客様である来庁市民を銀行まで振り込みに行かせるのか。改善策を考えたことはあるのか。あれば示せ。

④実際に1階の市民部ではキャッシュレジを導入して、市民にも職員にも好評を得ていると聞いているが、他部署の情報を共有する気はないのか。

⑤ほとんどが数百円と少額の窓口手数料だが、なぜ、（他部署ができているのに）窓口で現金等による収納をしないのか。

⑥コロナ禍、市民部のように非接触可能なキャッシュレスを含んだ窓口レジ対応に変えていくべきではないか。

⑦どこのスーパーでもできていることが、なぜできないのか。やる気がないだけではないか。

⑧いいかげん縦割りの弊害に気がついてはどうか。

都市整備部長の答弁

都市整備部の窓口で現金等による収納を行うことは各種申請と並行して取り扱うこととなり、市民サービスの観点からも効率的ではないと考えています。

また、キャッシュレス決済の場合は窓口で、直接手数料を受領しないことから多くの事業者の方が必要とする領収書が発行できない点が課題ありますので現在の窓口業務を継続していきたいと考えています。

※全く意味不明の答弁!?
誰が考えても窓口で手数料を受けてもらい、その場で証明書等を受け取る方が良いことは明らかです。
また、滑稽なのは、「キャッシュレス支払いには領収証が出せない」との答弁。お粗末の一言。
カード支払いで領収証の出ないお店はありませんよね。
即刻、業務改善せよ!!

⑨前回の私の質問に対し、市民に15分以上の時間的ロスがあることに対し「多大な負担ではない」と答えたお上意識丸出しの部長もいたが、市民の利便性を考えない幹部は後進に道をゆずるべきではないか。

梶原議員

本市職員をして「もはや犯罪行為」と愚痴る、本市の市街化区域農地に対する前年比3・5倍350％課税は、野志市長がどんなに〈理屈をつけても、絶対にあってはならない悪行にほかならない。そもそも固定資産税は、その資産価値に着目した財産税であって「適正な時価」すなわち正常な条件の下に成立する該不動産の取引価格であり、客観的な交換価値と解される（最高裁平成15年6月26日第一小法廷）から判断すると、本件、松山市星岡町3丁目340番の土地1143㎡：評価額687万円）から分筆した同340番1（571㎡：評価額1200万円）の土地は、同じ場所にあり、かつ面積が2分の1になったにもかかわらず、元地番の同340番よりも512万円も高い評価額を設定しており、客観的な交換価値を判断基準とするなら本市の決定は誰が考えても異常であり、**誤りである**。（本件土地の固定資産税に関してはこの情報より個人情報に関係なく解明してほしいと同意書が出されます）

理財部長の答弁

固定資産税は、地方税法に基づき、総務大臣が定める固定資産評価基準により評価し、税額を算定することになっています。分筆した場合は、土地の間口、奥行き、形状や、接する路線の状況に応じてそれぞれの筆ごとに新たに評価することになります。

したがって、その結果、固定資産税の税額が上がることもあります。

所在地番まで明確にして、その不当性を糾しているのに、全く答えず、一般論で逃げまわる答弁は許されません。
市長は恥ずかしくないのでしょうか。

梶原議員

松山市星岡町3丁目340番1の土地を含め、この**周辺農地や宅地の地価公示価格は2017年、2018年、2019年、2020年とどのくらい上昇したのか。**各年の上昇率を問う。また、市内全体平均との比較を問う。

野志市長の答弁

2017年から2020年までの周辺農地や宅地の地価公示価格の上昇率は、国土交通省が公表している地価公示地点には、設定されていませんが、近隣の久米地区の宅地では、**前年比で、2017年はマイナス0・5％、2018年はプラス1・0％、2019年から変動はありません。**

また、**市内全体の平均は、前年比で、2017年はマイナス0・9％、2018年はマイナス0・2％、2019年はプラス0・1％、2020年はプラス0・3％です。**この期間の久米地区と市内全体の平均上昇率は、ほぼ同じ水準です。

市長は質問の意味を理解していないのでは!!
市内の地価公示価格は、ここ4年間で0・7％のマイナスです。
前年比350％課税がいかに不当なのかが答弁に示されています。

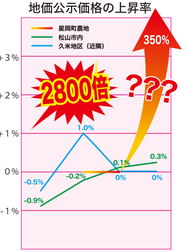
梶原議員

市長は9月議会の答弁で、「個人情報保護の観点から」として答弁をしなかったが、**3・5倍課税したこの土地の価値は約3・5倍に上がったのか。**上がってないのなら理由を問う。

理財部長の答弁

当該土地に関する課税内容については、現在、係争中ですので、この場でお答えすることは、控えさせていただきます。

分筆後の土地は、評価基準に基づき、課税していると考えており、謝罪及び撤回をする必要はないと考えています。



司法と行政は、それぞれ独立しており答えなければならない。
3・5倍課税した理由を示さなければ、市民は誰一人納得できない。

今議会は、一般質問と補正予算の討論で2度登壇しました。

庁内雑音のヒトコマ

職員A

梶原議員の減額などしている固定資産税、前年比3.5倍の350％課税なんて、行政としてはあってはならないと思います。

職員B

同感だよ!!
しかも、市内の地価公示価格は、この4年間で0.7％のマイナスだからネ。

梶原議員

傍観していてはダメです!
いじめを見て見ぬふりをしていては、いじめはますます大きくなります。
職員自らが立ちあがって悪政を改めてください。

議会質問

梶原ときよし

12月議会 一般質問より抜粋

2021年12月8日